

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌



評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0 使用評価ソフト: CASBEE札幌2016 (ver.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)北4東4マンション	階数	地上4階
建設地	札幌市中央区北4条東4丁目5-75.5-77.5-81	構造	RC造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	75人
建物用途	集合住宅	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
竣工年	2019年1月 竣工	評価の段階	竣工段階評価
敷地面積	898 m ²	評価の実施日	2018年11月20日
建築面積	527 m ²	作成者	
延床面積	2,128 m ²	確認日	2018年11月20日
		確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.5 ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	100%
③上記+②以外の	100%
④上記+	100%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.2

Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.6

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.3

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 1.7

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.4

LR1 エネルギー LR1のスコア = 2.1

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.7

3 設計上の配慮事項

<p>総合</p> <p>限られた敷地条件の中で、快適な住環境の創出を目指した。</p>	<p>A 省エネルギー</p> <p>ファミリータイプは、エコジョーズを採用し、照明設備はLEDを採用した。</p>
<p>B 省資源等</p> <p>特になし。</p>	<p>C 緑化</p> <p>特になし。</p>
	<p>D 雪処理</p> <p>積雪時は、速やかに除雪を行います。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

CASBEE札幌2016(ver.1.3)
 (仮称)北4東4マンション

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0
 欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE札幌2016 (ver.1.3)

スコアシート		竣工段階		建物全体-共用部分		住居-宿泊部分		全体
配慮項目	重点評価項目	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.2
Q1 室内環境					0.40		-	2.6
1 音環境				3.0	0.15	3.0	1.00	3.0
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音				3.0	0.50	3.0	0.50	
1 開口部遮音性能				3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能				3.0	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音				3.0	-	-	-	
2 温熱環境				1.3	0.35	2.8	1.00	2.5
2.1 室温制御				1.6	0.50	2.6	0.50	
1 室温				2.0	0.63	3.0	0.63	
2 外皮性能				1.0	0.38	2.0	0.38	
3 ゾーン別制御性				3.0	-	-	-	
2.2 湿度制御				1.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式				1.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境				2.0	0.25	2.3	1.00	2.2
3.1 昼光利用				2.4	0.30	2.5	0.30	
1 昼光率				2.0	0.60	2.0	0.50	
2 方位別開口				3.0	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策				2.0	0.30	3.0	0.30	
1 昼光制御				2.0	1.00	3.0	1.00	
2 映り込み対策				3.0	-	-	-	
3.3 照度				3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御				1.0	0.25	1.0	0.25	
4 空気質環境				3.0	0.25	3.0	1.00	3.0
4.1 発生源対策				3.0	0.60	3.0	0.63	
1 化学汚染物質				3.0	1.00	3.0	1.00	
4.2 換気				3.0	0.40	3.0	0.38	
1 換気量				3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能				3.0	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理				3.0	-	-	-	
1 CO ₂ の監視				3.0	-	-	-	
2 喫煙の制御				3.0	-	-	-	

Q2 サービス性能			-	0.30	-	-	2.3
1 機能性			2.2	0.40	2.2	1.00	2.2
1.1 機能性・使いやすさ			3.0	0.40	3.0	0.60	
1	広さ・収納性		3.0	-	-	-	
2	高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	1.00	
3	バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性			1.0	0.30	1.0	0.40	
1	広さ感・景観 (天井高)		3.0	-	1.0	0.50	
2	リフレッシュスペース		3.0	-	-	-	
3	内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理			2.5	0.30	-	-	
1	維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
2	維持管理用機能の確保		2.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性			2.6	0.30	-	-	2.6
2.1 耐震・免震・制震・制振			3.0	0.50	-	-	
1	耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-	
2	免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数			2.7	0.30	-	-	
1	躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	省資源	2.0	0.20	-	-	
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	省資源	2.0	0.10	-	-	
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	省資源	3.0	0.10	-	-	
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	省資源	3.0	0.20	-	-	
6	主要設備機器の更新必要間隔	省資源	3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性			1.8	0.20	-	-	
1	空調・換気設備		1.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-	
3	電気設備		1.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		2.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.0	0.30	2.2	1.00	2.3
3.1 空間のゆとり			3.0	-	1.4	0.50	
1 階高のゆとり			3.0	-	1.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ			3.0	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	1.7
1 生物環境の保全と創出	緑化		1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮	緑化		2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	雪処理		2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	省資源 緑化		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	2.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	2.1
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネ		1.0	0.20	-	-	1.0
2 自然エネルギー利用	省エネ		2.0	0.10	-	-	2.0
3 設備システムの高効率化	省エネ	[BEI][BEIm] = 1.08	2.2	0.50	-	-	2.2
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング	省エネ		3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制	省エネ		3.0	-	-	-	
集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング	省エネ		3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制	省エネ		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.7
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.5	0.60	-	-	2.5
2.1 材料使用量の削減	省資源		2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用	省資源		3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	省資源	-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	省資源	-	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材	省資源		3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	省資源		3.0	0.20	-	-	

3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1 消火剤	省資源		-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	省資源		3.0	0.50	-	-	
3 冷媒	省資源		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.7
1 地球温暖化への配慮	省資源		3.0	0.33	-	-	3.0
2 地域環境への配慮			2.2	0.33	-	-	2.2
2.1 大気汚染防止	省資源		3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善	省資源 熱化 蓄処理		2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減	省資源		1.0	0.33	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			-	-	-	-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.33	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制	省資源 蓄処理		2.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.8	0.33	-	-	2.8
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	0.33	-	-	
2 振動			3.0	0.33	-	-	
3 悪臭			3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			-	-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			2.3	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			2.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌



重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2016(ver.1.3)

1 建物概要		BEE	0.5	BEEランク	B ⁻
建物名称	(仮称)北4東4マンション				
建物用途	集合住宅				
延床面積	2,127.9 m ²				

2 重点項目への取り組み

地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー	★★★★★
	省資源等	★★★☆☆
	緑化	★★☆☆☆
	雪処理	★★★★☆

レーダーチャート

★1=スコア(最低点~最高点)20%以下
★2=スコア(最低点~最高点)20%~40%以下
★3=スコア(最低点~最高点)40%~60%以下
★4=スコア(最低点~最高点)60%~80%以下
★5=スコア(最低点~最高点)80%以上

3. 重点項目のCASBEEスコア

A 省エネルギー (最高点 23.5 最低点 7.4)		合計 9.7点 /23.5点	
Q1 温熱環境	スコア 0.3 /1.4	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア 0.8 /4.0
Q1 光・視環境	スコア 1.0 /2.1	LR1 自然エネルギー利用	スコア 0.8 /2.0
		LR1 設備システムの高効率化	スコア 4.4 /10.0
		LR1 効率的運用	スコア 2.4 /4.0
B 省資源等 (最高点 23.9 最低点 7.7)		合計 12.2点 /23.9点	
Q2 耐用性・信頼性	スコア 0.5 /1.1	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア 4.5 /9.0
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.9 /2.3	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア 1.3 /1.9
		LR3 地球温暖化への配慮	スコア 3.0 /5.0
		LR3 地域環境への配慮	スコア 2.0 /4.6
C 緑化 (最高点 15.3 最低点 3.1)		合計 5.2点 /15.3点	
Q3 生物環境の保全と創出	スコア 0.9 /4.5	LR3 地域環境への配慮	スコア 1.0 /2.5
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア 2.4 /6.0		
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.9 /2.3		
D 雪処理 (最高点 3.0 最低点 0)		合計 1.0点 /3.0点	
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.0 /1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 1.0 /2.0

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■重点項目の最高点は、各評価項目でレベル5で評価された場合の点数
 ■重点項目の最低点は、各評価項目でレベル1で評価された場合の点数